

坪沼八幡神社社報



神の恵みと祖先の恩とに感謝しましょう

月に一度は神社に詣で

家族の平安と幸福を祈りましょう

坪沼八幡神社社報
 発行所 坪沼八幡神社社務所
 代表者 宮司 高山亮榮 担当 禰直 高山晃和
 仙台市太白区坪沼字館前東六十九
 電話 二八一 二五八九

ご挨拶

今年も早いもので半年が過ぎようとしております。稲の生育も順調のようであります。

春の例大祭・神輿渡御も四月十五日お陰様にて無事盛大裡に斎行されました。

今年には特に昨年から行っておりました御屋根葺き替え及び御社殿修理改修事業も完了し、例大祭に引き続き十六日に奉告祭併せ奉祝の行事を開催致しました。

今般久方ぶりに行われた奉祝の行事・演芸大会は、天候にも恵まれ、八幡さまと御縁深い沢山の方々に御参集を賜り賑やかに行うことが出来ました。さぞかし大神様も御感心になられたことかと拝察する次第です。皆様の温かい御奉賛御協力に深く感謝申し上げます。

今後皆様さんのお声を頂戴し、氏子崇敬者の心のよりどころの神社として、地域の発展に寄与すべく様々な行事を計画してまいりますので、御理解御協力を宜しくお願い申し上げます。

氏子崇敬者皆様の幸福と平安を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

改修工事終了に伴う「奉祝祭」厳粛に斎行

四月十六日(日)午前十一時より奉祝祭を斎行引続き社務所にて祝賀会・直会を開催しました。また、当日は午後からお祝いの神賑行事として演芸大会を左記の皆様の御奉仕により開催し、多くの皆様に鑑賞・ご参加頂きました。

奉納行事内容

- ・生田剣聖会「の少年少女による剣道の奉納
- ・和楽アンサンブル「FEEEL」琴尺八の演奏
- ・歌手菊地智宏さんによる民謡演歌歌謡ショー
- ・坪沼祭囃子「子供達と保存会の皆さんの演奏
- ・民俗歌謡団「ほつねん座」特別公演
- ・福引き大会 一等は自転車が当たりました
- ・縁日広場「ではくし引きなど出店やゲーム

拝殿では特別に家元によるお茶のお手前本行事に当たっては、左記の皆様からのご祝儀を頂きました。御協賛有難うございました。

- | | |
|---------------|-------------|
| 御協賛ご芳名 | 総代 佐藤清之丞 様 |
| 総代 山田義正 様 | 阿部和工務店 様 |
| ビックライザック | 阿部善産業 様 |
| カントリー倶楽部様 | 友和電設 様 |
| 仙台力ナワホーム 様 | 元小学校先生菅原和夫様 |
| 坪小学校長 阿部誠一 様 | 佐藤建業 様 |
| 生田森八幡神楽 様 | 菅野工業 様 |
| ひるせ川交通 様 | 生田出聖会 様 |
| 農政企画局 鈴木憲一 様 | 松島町 山田 耕 様 |
| 小関ファーム 様 | ほつねん座 様 |
| 遊佐商事 様 | 青葉区東照宮谷山佳子様 |
| 多賀城市 菊地智宏 様 | 山元町 佐々木 剛 様 |
| 太白区四郎丸 今野 勲 様 | 順不同 |
| 太白区四郎丸 伊藤信雄 様 | |

境内整備事業

この度の事業に伴い、境内整備に御協力をお願い申し上げましたところ、多くの皆様より温かい御奉納を頂きました。この御浄財をもとに先ずは国旗掲揚塔を新設したり、その他にも皆様にご利用頂く社務所なども一部改装するなど徐々に整備を進めております。

奉賛者〔芳名〕

- 本田謙眞様 佐々木正美様 布施国雄様 大塚盛夫様
八木原勇様 佐々木剛様 小田中昌司様 千葉英次様
阿部倅知様 佐藤孝之様 阿部朗様 西島恒郎様
吉田良様 星山達男様 伊藤信雄様 堀初枝様
櫻井芳郎様 小檜山英男様 菅田彰人様
菅原俊見様 丹野あさ子様 二瓶田美子様 嶺えなよ様
日下きよ子様 岩間ふみ様 阿部あけ子様 嶺和子様
佐藤清様 佐藤正一様 佐藤福宝様 佐藤利雄様
佐藤正様 小林成子様 小林一二三様 佐藤照江様
小林孝允様 小林哲雄様 渡辺政義様 菅野憲昭様
菅野三千年様 仲野和江様 今野昭悦様 今野静生様
米澤幸子様 平間良子様 佐藤はつみ様
住吉いくよ様 鈴木 みさ江様 以上順不同



神社と稲作の関係

神道の信仰は、人びとの生活の中で育まれてきました。日本人の生活基盤であった稲作農業との関わりの中で、その形式が整えられ、体系化されてきました。稲米は、皇室の御祖神(みおやがみ)である天照大御神(あまてらすおおみかみ)が私たちの祖先に授けられたものと、日本の神話は伝えていきます。日本の古名を豊葦原瑞穂国(とよあしはらのみずほのくに)といい、稲穂が豊かに実る国と称えてきました。稲米は、日本の国柄そのものを象徴するとともに、私たち日本人にとって稲作は、神々から授けられた神聖な営みでもありました。

【坪沼の稲作に関するお祭り・行事】

- 一月二日 農始め 縄ないをする
一月二七日 祈年祭 豊作を祈る祭り
五月 初旬 植え始め 餅をつき神棚に供える
五月 中旬 早苗振り 田植え終了日に餅をつき神棚に供え 人夫に振る舞う
旧六月二五日 虫送り 稲虫がつかないように、水口にお札を立てる
九月 一日 二百十日 風雨除けのお札を水口に立てる
旧一〇月一日 お刈り上げの日 餅をつき神棚に供える
一月三日 新嘗祭 豊年万作を唱えつつ迎える
収穫感謝のお祭り

お神木奉納について



皆様から、四二本の本神が献木になりました。新芽も出て少しづつ大きくなってきており、もう少しで神棚用にお使い頂けるようになるかと思えます。

花のある神社へ御協力を

桜やツジも終わり、これからさつきが見頃を迎えますが、いつも「花のある神社」を目指し、花のつく献木を常時お願いしております。山前面の伐採地には桜を植樹する予定です。

今後の予定

七月十五日(土)午後六時「蛸と平家琵琶の夕べ」ふるさと坪沼実行委員会主催

編集後記

第一号を発刊することが出来ました。この社報はこれからも折に触れ発刊しますが、ご要望などがございましたらご連絡下さい。社報が神社と皆様とを繋ぐ架け橋となりますよう、今後共よろしくお祈り申し上げます。

ホームページ http://www.tsunonuma.org をご覧下さい